



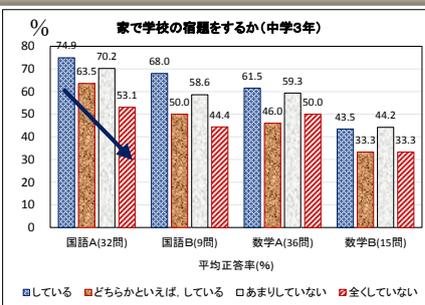
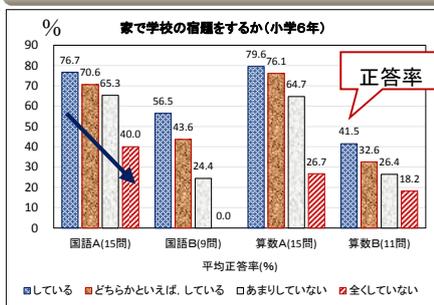
## 家庭での勉強の仕方と学力の関係は…《ある・ない?》



先月号で全国学力学習状況調査の「児童生徒の意識調査」結果から町内小6児童、中3生徒の「基本的な生活・学習習慣と学力の関係」についてお知らせしましたが、引き続き「家庭での勉強の仕方と学力の関係」についての分析結果をお知らせしたいと思います。皆さんの予想と同じになっているでしょうか。それとも、異なっているでしょうか?ご一緒に考えてみましょう。

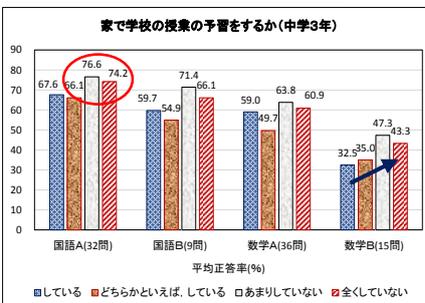
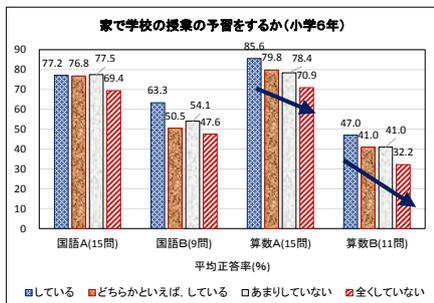
### 設問1. 家で、学校の宿題をしていますか

〔グラフ~左が小6・右が中3〕



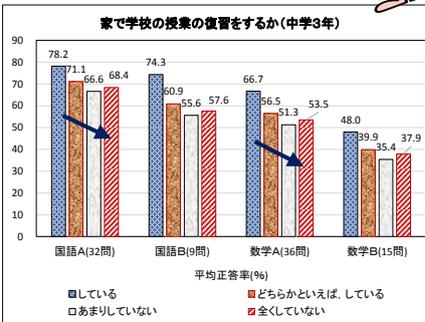
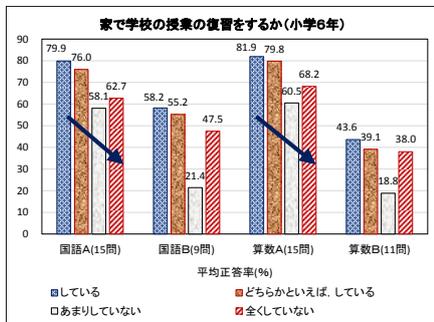
宿題をするとしない児童生徒では、正答率の差が大きく「宿題をするほど」高くなっています。「宿題をしている」・「どちらかといえばしている」児童生徒の割合は92~93%、そうでない児童生徒は6~7%です。家で宿題をしっかりとやるのが学力向上には大切といえるでしょう。(昨年度分は5月号を参照)

### 設問2. 家で、学校の授業の予習をしていますか



小6は「している」ほど正答率も高くなっています。特に算数が顕著です。中3は逆の結果になっていますが、予習はしなくてよいと判断するのは早計です。設問1・設問3を含め総合的に判断する必要があります。予習を「(あまりしていません)・していない」生徒は「(26%)・50%」です。

### 設問3. 家で、学校の授業の復習をしていますか



小6中3とも復習の大切さがよく分かる結果です。小・中とも復習「している」と「していない」の差は最大17点あります。児童生徒の回答別割合を見ると、  
・「している」小59% 中39%  
・「している方」小20% 中38%  
・「していない方」小9% 中14%  
・「していない」小12% 中9%  
になっています。

前回の設問4・5と今回の設問1~3を併せ総合的に判断すると、家庭学習の計画をしっかりと立て、まず宿題を確実にやり遂げて、その日の学習内容を復習して自分のものにすることが大切であり、その上で余裕があれば予習に取り組むような勉強のあり方がよいのではないかと思います。人それぞれ自分に合ったやり方があると思いますので、一番よい形を作ってください。



今、研究のまとめ  
をやっています

## 研究員がICTを活用した研究授業を行いました！

第1回は西門中 吉田先生

第2回は五十鈴小 金丸先生

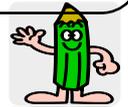
吉田先生の授業は2年数学でフラッシュ型教材や書画カメラ、電子黒板を使い、生徒の考えが可視化され、協働的な学習を如何に進めるか、金丸先生の授業は同様にフラッシュ型教材、書画カメラを使い発表や説明時間を短縮し、課題解決のための意見交換や練り合いをどう深めるかを検証するものです。



電子黒板の画面に映っている図形にペンを使って自分の考えを直接書き込んでいるところです



書画カメラ（実物投影机）を使って自分で書いた図をTVに映して自分の考えを説明しているところです。



このような授業を「ICTを効果的に活用した授業」と呼んでいます。2020年度から実施される次期学習指導要領では「何ができるようになるか」「どのように学ぶか」の視点を重視し、児童生徒が主体的に授業に参加する「アクティブ・ラーニング」の導入が求められています。教科書もタブレット端末などを用いたデジタル教科書が導入される見込みです。（町内でも一部教科で導入されています。）その前にICT活用のメリットを最大限に生かすための教師の活用技術力を高めておく必要があります。

心に残った  
本の一節！



「勇気」がわくコトバ～「ゴールまではどんな道を通ってもいいんです」

高校入試で第一志望に行けなかったときに言われた言葉です。その先生の言葉を信じて、高校に入って頑張りました。その結果、大学入試では希望のところに行けたので、いまでもその言葉に感謝しています。

〔出典：TOKYO FM 発行「ありがとう、先生！」より〕

## 子どもの教育や子育てで、悩んでいませんか？

困った時には、教育相談室に気軽に電話をしてください。

・月曜 13：00～16：00 ・火～木曜 9：00～16：00  
（上記は基本時間です。不在の場合もありますので、ご了承ください。）

教育相談室（門川町教育研究所内）  
Tel・Fax 63-1566

～～～返信欄（教育研究所便り「ふれあい」へのご意見やご感想をお聞かせください。）～～～

